

豊監報第8-2号

令和8年2月27日

豊岡市監査委員 羽 尻 知 充

豊岡市監査委員 中 嶋 英 樹

豊岡市監査委員 竹 中 理

財政援助団体等に対する監査（出資団体監査）結果報告について
（ 豊岡まちづくり株式会社 ）

地方自治法第199条第7項の規定に基づき、財政援助団体等に対する監査（出資団体監査）を実施したので、同条第9項の規定により、その監査の結果に関する報告を別紙のとおり提出します。

財政援助団体等監査結果報告書
(出資団体監査)

第 1 監査の種類

地方自治法第199条第7項の規定による監査（出資団体監査）

第 2 監査の対象

1 監査の対象

豊岡まちづくり株式会社

(当該団体の事業に係るコウノトリ共生部環境経済課の事務を含む。)

2 選定理由

以下の事由により、当年度の監査対象とした。

- (1) 前回の監査は、令和3年1月に実施しており、一定の期間を経ている。
- (2) 事業が出資の目的に沿って良好に運営されているか確認するため
- (3) 所管課として経営に対する指導及び経営状況の確認を行っているかなどを確認するため

第 3 監査の目的と範囲

出資している団体の当該財政的援助等に係る出納その他の事務の執行が当該財政的援助等の目的に沿って行われているか監査すること、当該事務が関係法令及び規程等に準拠し適正で効率的かつ効果的に行われているかを、関係者によるヒアリングや証ひょう書類等を突合するなどの監査手続を通じて試査する。

特に今回の監査は、豊岡まちづくり株式会社（以下「会社」という。）における出納事務手続、その他関係事務について、適時適切に行われているかという観点から、第28期から第30期までの3年間（令和4年4月1日～令和7年3月31日）の決算並びに第31期（令和7年4月1日～令和7年11月30日）における現状を監査の対象範囲として実施した。

また、会社に係る環境経済課の事務が、関係法令等にのっとり適切に処理されているか検査した。

第 4 監査の着眼点

監査の実施にあたり、監査の着眼点を次のとおり設定した。

1 出資団体関係

- (1) 定款及び規程等に基づいた事務が執行されているか。
- (2) 設立目的に沿った事業運営が行われているか。
- (3) 決算諸表等は、法令等に準拠して作成されているか。
- (4) 事業成績、財政状況は適正に決算諸表に表示されているか。
- (5) 経営成績及び財政状況は良好か。
- (6) 出納関係帳票等の整備、記帳は適正になされているか。また、証拠書類の整備、保存は適切か。
- (7) 会計経理及び財産管理は適切か。活用されていない財産等はないか。
- (8) 資金運用は適切か。また、経費節減は図られているか。

- (9) 現金や預金通帳、印鑑の管理体制は適切か。
- (10) 地元地域の方々との連携・協力の体制はどうか。

2 所管部局関係

- (1) 経営成績及び財政状況を十分把握し、適切な指導監督を行っているか。
- (2) 出資者としての権利行使は適切に行われているか。
- (3) 出資団体への委託業務等が適切に処理されているか。
- (4) 出資団体との連絡・調整等が十分行われているか。

第5 監査の主な実施内容

1 事前監査（予備調査）の実施

会社及び環境経済課を対象に、監査委員事務局職員による事前監査（予備調査）を実施した。事業が出資の目的に沿って良好に運営されているか、出納その他の事務が関係法令や規程などに従って適正に処理されているかなどを主眼に、会計諸帳簿その他関係書類の一部を抽出して調査するとともに、関係職員に対する質問等の方法により実施した。

事前監査においては、主な着眼点毎に、内部統制の整備状況及び運用状況について、事前監査点検事項を設定する方法により監査を実施した。

- (1) 実施日 令和8年1月16日

2 監査委員監査（本監査）の実施

- (1) 実施日 令和8年1月30日
- (2) 監査委員名 監査委員 羽尻 知充、監査委員 中嶋 英樹、監査委員 竹中 理
- (3) 基準等 豊岡市監査委員監査基準及び監査等の実務ガイドライン（全国都市監査委員会編集）

第6 監査の実施期間

- 1 実施場所 会社
- 2 監査の期間 令和7年12月1日から令和8年2月24日

第7 監査の結果

今回の監査は、豊岡市の出資団体である会社について、第28期から第30期までの3年間の経営状況等、第31期における現状に係る事務について聴取し、関係諸帳簿の検査を実施した結果、会社の事業は出資目的に沿って適正に運営されていると認められる。

なお、今回の監査における要望事項は、「5 監査の総括及び所見」に述べているとおりであるので、これらの要望事項に関しては検討を求める。

また、軽易な注意事項等についてはその都度口頭で改善指導したので、記述を省略した。以下、監査結果は次のとおりである。

文中及び各表中の計数は、原則として表示単位未満を四捨五入により端数処理した関係上、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

1 団体の概要

(1) 概要 (令和7年3月31日現在)

| | |
|----------|--|
| 団体の名称 | 豊岡まちづくり株式会社 |
| 設立年月日 | 平成7年5月2日 豊岡市の中心市街地の活性化を図るため、第3セクターの商業法人として設立 |
| 資本金 | 91,800千円 (設立時：81,000千円) |
| 株式数 | 1,836株 1株につき50千円 |
| 株主数 | 120名 |
| 豊岡市からの出資 | 918株 45,900千円 (出資割合 50.00%) 設立時：800株 40,000千円 追加保有：平成24年9月：18株 900千円 平成25年7月：100株 5,000千円 |
| 所在地 | (本社) 豊岡市大磯町1番79号 一般財団法人但馬地域地場産業振興センター内 (支店) 豊岡市中央町18番10号 Toyooka KABAN Artisan Avenue |
| 主な事業 | 1事業4部門を行っている。 アルチザン事業 ・アトリエショップ部門 ・アトリエネット部門 ・スクールⅠ部門 ・スクールⅡ部門 |

(2) 組織

代表取締役 足立 哲宏、取締役8名、監査役2名 (令和7年11月30日現在)

定款により取締役12名以内、監査役3名以内と定められている。

<社員>

(単位：人)

| | 第28期末 (R5. 3. 31) | 第29期末 (R6. 3. 31) | 第30期末 (R7. 3. 31) | 第31期 (R7. 11. 30 現在) |
|-----|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------------|
| 社員 | 7 | 8 | 10 | 10 |
| パート | 14 | 14 | 1 | 1 |
| 合計 | 21 | 22 | 11 | 11 |

組織は、代表取締役、取締役会、業務部、総務部で構成されている。業務部にはスクール事業課及びショップ事業課の2課があり、アルチザン事業の一環であるアトリエ部門・スクール部門を行っている。総務部には総務経理課の1課があり、経理等を行っている。

2 財務状況の分析

会社の会計は、複式簿記会計によって処理されており、決算報告書も貸借対照表、損益計算書等としてまとめられ、監査役の監査を受けて、株主総会に報告されている。

第30期 (令和6年4月1日～令和7年3月31日) の営業活動にかかる財務関係書類を主に調査したところ、計数的な誤りはなく、概ね適正に処理されていた。

第28期から第30期の3か年の財務状況は、以下のとおりである。

(1) 損益計算書

(単位:千円、%)

| 区 分 | | 第28期 | 第29期 | 第30期 (R6.4.1~R7.3.31) | | |
|----------------------|---------------------|---------|---------|-----------------------|----------|-------------|
| | | 決算額 | 決算額 | 決算額 | 前期比較 | |
| | | | | | 増減額 | 増減率 |
| 営業 損益 の部 | 営業収益 (売上高) a | 176,307 | 179,000 | 171,949 | △ 7,051 | △ 3.9 |
| | アルチザン事業収入 | 162,272 | 164,150 | 171,949 | 7,799 | 4.8 |
| | 学校給食配送事業収入 | 14,035 | 14,850 | — | △ 14,850 | 皆減 |
| | 営業費用 b | 169,569 | 178,882 | 181,846 | 2,964 | 1.7 |
| | 売上原価 | 81,732 | 83,596 | 89,155 | 5,559 | 6.6 |
| | 販売費及び一般管理費 | 87,837 | 95,286 | 92,691 | △ 2,595 | △ 2.7 |
| | ① 営業利益 (△損失) a - b | 6,738 | 118 | △ 9,897 | △ 10,015 | △ 8,487.3 |
| 営業外 損益 の部 | 営業外収益 c | 2,242 | 850 | 231 | △ 619 | △ 72.8 |
| | 受取利息・配当金 | 2 | 2 | 21 | 19 | 950.0 |
| | 雑収入 | 2,240 | 848 | 210 | △ 638 | △ 75.2 |
| | 営業外費用 d | 1,727 | 749 | — | △ 749 | 皆減 |
| | 雑損失 | 1,727 | 749 | — | △ 749 | 皆減 |
| | ② 営業外利益 (△損失) c - d | 515 | 101 | 231 | 130 | 128.7 |
| ③ 経常利益 (△損失) ①+② | | 7,253 | 219 | △ 9,666 | △ 9,885 | △ 4,513.7 |
| 特別 損益 の部 | 特別利益 e | — | — | 29 | 29 | 皆増 |
| | 貸倒引当金戻入益 | — | — | 29 | 29 | 皆増 |
| | 特別損失 f | 0 | — | — | — | — |
| | 固定資産売却損 | 0 | — | — | — | — |
| ④ 特別利益 (△損失) e - f | | 0 | — | 29 | 29 | 皆増 |
| ⑤ 税引前当期純利益 (△損失) ③+④ | | 7,253 | 219 | △ 9,637 | △ 9,856 | △ 4,500.5 |
| ⑥ 法人税、住民税及び事業税 | | 1,872 | 211 | 211 | 0 | 0.0 |
| ⑦ 当期純利益 (△損失) ⑤-⑥ | | 5,381 | 8 | △ 9,848 | △ 9,856 | △ 123,200.0 |

第30期(令和6年4月1日~令和7年3月31日)の経営成績は、営業収益171,949千円(対前期比△7,051千円、△3.9%)、営業利益は、△9,897千円(対前期比△10,015千円、△8487.3%)、経常利益は、△9,666千円(対前期比△9,885千円、△4513.7%)、当期純利益は△9,848千円となっており、第29期(令和5年4月1日~令和6年3月31日)と比較すると、△9,856千円、△123,200.0%となっている。

(2) 貸借対照表

(単位:千円、%)

| 区 分 | 第28期 | 第29期 | 第30期 (R6.4.1~R7.3.31) | | |
|-------------|----------|----------|-----------------------|-----------|----------|
| | 決算額 | 決算額 | 決算額 | 前期比較 | |
| | | | | 増減額 | 増減率 |
| 流動資産 | 114,198 | 118,068 | 110,433 | △ 7,635 | △ 6.5 |
| 現金・預金 | 95,315 | 95,141 | 93,509 | △ 1,632 | △ 1.7 |
| 売掛金 | 10,781 | 12,864 | 9,969 | △ 2,895 | △ 22.5 |
| 商品・製品 | 4,364 | 6,430 | 4,696 | △ 1,734 | △ 27.0 |
| その他流動資産 | 3,738 | 3,633 | 2,259 | △ 1,374 | △ 37.8 |
| 固定資産 | 34,590 | 29,292 | 24,642 | △ 4,650 | △ 15.9 |
| (有形固定資産) | (34,260) | (28,962) | (24,312) | △ 4,650 | △ 16.1 |
| 建物・付属設備・構築物 | 13,423 | 12,663 | 11,903 | △ 760 | △ 6.0 |
| 工具器具備品 | 20,536 | 15,998 | 12,108 | △ 3,890 | △ 24.3 |
| 土地 | 301 | 301 | 301 | 0 | 0.0 |
| (無形固定資産) | (300) | (300) | (300) | 0 | (0.0) |
| 電話加入権 | 300 | 300 | 300 | 0 | 0.0 |
| (投資その他の資産) | (30) | (30) | (30) | (0) | (0.0) |
| 出資金 | 30 | 30 | 30 | 0 | 0.0 |
| 資産の部 合計 | 148,788 | 147,360 | 135,075 | △ 12,285 | △ 8.3 |
| 流動負債 | 25,304 | 25,705 | 23,268 | △ 2,437 | △ 9.5 |
| 買掛金 | 12,080 | 11,903 | 12,307 | 404 | 3.4 |
| 未払金・未払費用 | 1,783 | 2,038 | 1,220 | △ 818 | △ 40.1 |
| 未払法人税・消費税等 | 1,200 | 4,481 | 611 | △ 3,870 | △ 86.4 |
| 前受金 | 10,060 | 7,075 | 8,940 | 1,865 | 26.4 |
| 預り金 | 181 | 208 | 190 | △ 18 | △ 8.7 |
| 負債の部 合計 | 25,304 | 25,705 | 23,268 | △ 2,437 | △ 9.5 |
| 株主資本 | 123,484 | 121,655 | 111,807 | △ 9,848 | △ 8.1 |
| (資本金) | (91,800) | (91,800) | (91,800) | (0) | (0.0) |
| (利益剰余金) | (31,684) | (29,855) | (20,007) | (△ 9,848) | (△ 33.0) |
| 繰越利益剰余金 | 31,684 | 29,855 | 20,007 | △ 9,848 | △ 33.0 |
| 純資産の部 合計 | 123,484 | 121,655 | 111,807 | △ 9,848 | △ 8.1 |

※ 第30期末有形固定資産の減価償却累計額 25,904,486円

※ 第29期末有形固定資産の減価償却累計額 21,496,160円

※ 第28期末有形固定資産の減価償却累計額 16,543,676円

〔資産の部〕

第30期の資産総額は135,075千円で、前期と比較すると、△12,285千円、△8.3%となっている。これは主として、工具器具備品、売掛金の減少に伴うものである。

流動資産総額は110,433千円で、主なものは現金及び預金93,509千円、売掛金9,969千円、商品・製品4,696千円である。流動資産総額を前期と比較すると、△7,635千円、△6.5%となっている。

固定資産総額は24,642千円で、主なものは、有形固定資産の工具器具備品12,108千円、建物・付属設備・構築物11,903千円である。固定資産総額を前期と比較すると、△4,650千円、△15.9%となっている。

〔負債の部〕

第30期の負債総額は23,268千円で、前期と比較すると、△2,437千円、△9.5%となっている。これは主として、未払法人税・消費税等の減少に伴うものである。

流動負債総額は23,268千円で、主なものは買掛金12,307千円、前受金8,940千円である。流動負債総額を前期と比較すると、△2,437千円、△9.5%となっている。

〔純資産の部〕

第30期の純資産の合計額は111,807千円で、前期と比較すると、△9,848千円、△8.1%となっている。これは、繰越利益剰余金の減少に伴うものである。

第30期の資本金は91,800千円で、前期と同額である。

第30期の利益剰余金は20,007千円で、前期と比較すると、△9,848千円、△33.0%となっている。

3 営業成績及び財産状況の推移

(1) 部門別売上高の推移

(単位：千円)

| 区 分 | | 第26期 | 第27期 | 第28期 | 第29期 | 第30期 |
|----------|------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
| アルチザン事業 | | 124,368 | 132,755 | 162,272 | 164,150 | 171,948 |
| 内 訳 | アトリエ | 107,336 | 113,974 | 143,870 | 146,634 | 155,753 |
| | スクール | 17,032 | 18,781 | 18,402 | 17,516 | 16,195 |
| 学校給食配送事業 | | 14,322 | 14,885 | 14,035 | 14,850 | — |
| 合 計 | | 138,690 | 147,640 | 176,307 | 179,000 | 171,948 |

※ 学校給食配送事業は、第29期末をもって終了している。

(2) 第30期 部門別損益 (単位：千円)

| 区 分 | 総 合 計 | アルチザン アトリエ ショップ部門 | アルチザン アトリエ ネットショップ部門 | アルチザン スクール I 部門 |
|----------------|---------|-------------------------|----------------------------|--------------------|
| 売 上 高 | 171,948 | 70,280 | 85,473 | 16,195 |
| 売 上 原 価 | 89,155 | 41,264 | 47,891 | — |
| 売上総利益 | 82,793 | 29,016 | 37,582 | 16,195 |
| 販売費及び 一般管理費 | 92,690 | 31,216 | 39,735 | 21,739 |
| 営 業 利 益 | △9,897 | △2,200 | △2,153 | △5,544 |

アルチザン事業では、ショップ直販を中心とした鞆販売のアトリエショップ部門、ネットサイトでの鞆販売のアトリエネット部門、鞆職人養成スクールのスクール I 部門の 4 部門に取り組んでいる。

(3) 営業成績及び財産状況等推移 (単位：千円)

| 区 分 | 第26期 | 第27期 | 第28期 | 第29期 | 第30期 |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
| 営 業 利 益 | 4,591 | 4,322 | 6,738 | 118 | △9,897 |
| 経 常 利 益 | 9,933 | 6,216 | 7,253 | 219 | △9,666 |
| 当期純利益 | 7,644 | 4,870 | 5,381 | 8 | △9,848 |
| 総 資 産 | 137,862 | 143,082 | 148,787 | 147,360 | 135,074 |
| 純 資 産 | 115,067 | 119,938 | 123,483 | 121,655 | 111,806 |

(単位：千円)

| 区 分 | | 第26期 | 第27期 | 第28期 | 第29期 | 第30期 |
|----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
| 株主 資本 | 資本金(期末) | 91,800 | 91,800 | 91,800 | 91,800 | 91,800 |
| | 利益剰余金 | 23,268 | 28,138 | 31,684 | 29,855 | 20,007 |
| | 株主資本合計 | 115,068 | 119,938 | 123,484 | 121,655 | 111,807 |

4 主な取組状況 (第31期事業計画などより)

- (1) 本年度は、兵庫県内各地で行われている持続可能な取組みの魅力を地域の人たち自らが発信するプログラム「ひょうごフィールドパビリオン」にエントリーした「鞆づくり体験プログラム」を最大限に活用し、基幹産業である豊岡鞆を引き続き全国へ情報発信するとともに、さらなる集客・販売に向けて、鞆業界関係者と連携を図っている。

- (2) アトリエショップ部門では、アルチザン直販店を核として、豊岡鞆の売上増と国内での認知度向上を図っている。また、「ひょうごフィールドパビリオン」のプログラムで鞆産地ならではの本格的な体験ができるワークショップを開催し、新たな顧客獲得に取り組んでいる。さらに、スクール生と共同開発したオリジナル商品の販売、Lineツールを活用した販売促進等を実施している。
- (3) アトリエネット部門では、WEB上で豊岡鞆の魅力や価値を訴求し、「ひょうごフィールドパビリオン体験プログラム」のPRで豊岡への誘客とブランド・店舗の認知拡大に取り組んでいる。また、メールマガジンを活用し、顧客へのサービスと定期的な情報発信を行っている。
- (4) スクールⅠ部門では、定員13名に対し、令和7年度は全国各地から8名が入学している。鞆職人養成の専門課程で、鞆づくりだけではなく、原価計算から鞆業界の現状、さらには豊岡市の目指すものなど広く学んでいる。
- (5) 令和7年度より、豊岡K-site合同会社から「鞆縫製者養成コース」を引継ぎ、スクールⅡ部門として運営を開始している。講座は前期（5月末～9月末）と後期（10月末～翌年2月末）で計2回開講しており、後期の講座では定員8名に対し、6名が受講している。

5 監査の総括及び所見

第30期（令和6年4月1日～令和7年3月31日）の営業活動にかかる財務関係書類を抜粋して照合したところ計数的な誤りはなく、出納その他の事務については、適正に処理されていると認められた。今後も適正な事務処理に努められたい。

(1) 総括

会社は、豊岡市、豊岡商工会議所及び商業者などが出資し、中心市街地の活性化を図る機関として平成7年5月に設立され、定款に定められている会社が目的とする事業内容は多岐にわたっていた。

設立当初は商業店舗の設置・管理、カード事業の運営、物品の販売などに取り組んできた。しかし、設立当初と今日の地域経済や市民生活を取り巻く環境は大きく変わり、中心市街地の人口減少、高齢化の進展、商店街の機能低下により賑わいが少しずつ失われ、市街地の空洞化が進行してきた。

このような状況から脱却するため、会社は平成23年1月に豊岡商工会議所とともに中心市街地活性化推進協議会を設立し、中心市街地の活性化に向け、宵田・カバンストリートの大規模空き店舗を活用した「かばん」をキーワードとする事業や拠点施設等を盛り込んだカバンアルチザンスクエア事業計画を豊岡市に提出し、豊岡市は、中心市街地活性化計画の一環として、カバンアルチザンスクエア事業を「かばんを活かしたまちづくり事業」として位置づけ推進することとした。

その結果、会社は豊岡市から補助金の交付、そして関係団体からも支援金を受け、「トヨオカ カバン アルチザン アベニュー（宵田商店街空き店舗活用）事業」として取り組み、平成24年度には事業用の土地・建物の取得、平成25年10月には「かばん」を中心とした集客拠点施設（ショップ部門）及び鞆業界の将来を担う人材育成施設（スクール部門）の整備に着手し、平成26年3月に完成した。

カバンアルチザンスクエアは、1階アトリエ（鞆ショップ）、3階スクールとして事業を展開している。

会社は、第21期決算以降、営業利益、経常利益、当期純利益とも黒字を計上していたが、第30期決算において、講師増員による人件費の増加、スクール定員割れによる事業収入の減少、広告費の増加等により、営業利益、経常利益、当期純利益とも赤字を計上している。

会社は、日本有数の鞆産地である豊岡に、鞆産産を象徴する拠点施設を構え、運営することで、集客、地域経済活性化に寄与し、地場産産の鞆産産の未来を担う人材を育成することを目的として運営されている。引き続き、各事業の収入増加に努めるとともに、徹底した経費の見直しを行うなど、関係者一同の一層の経営努力を要望するものである。

また、地元地域の方々との連携・協力体制のもと、事業を展開されることを期待する。

(2) 監査結果の要望事項は次のとおりである。

【出資団体関係】

〔要望事項〕

ア アトリエショップ部門及びアトリエネット部門では、豊岡鞆の販売拡大と国内での認知度向上を図っており、豊岡鞆のみならず、豊岡市の魅力発信も担っている。一度商品を購入された方が豊岡鞆の魅力に惹かれ、リピーターとなる事例も多いことから、様々な方法により豊岡鞆の良さを知ってもらう取組みを推進することで、豊岡鞆のファンを増やし、そのことが豊岡鞆の販売拡大と豊岡市への来訪者の増加につながることを期待するものである。

イ スクールⅠ部門では、講師3名体制で鞆職人の育成を行っている。スクールの卒業生の半数は地元就職し、人材育成の機能を果たしている。引き続き、スクールⅡ部門とあわせて、次世代を創り出す鞆職人の育成に尽力されたい。また、豊岡鞆の優れた技術がさらに次の世代に引き継がれるとともに、新しい感性と融合し、豊岡鞆がこれからも発展することを期待する。

【所管課関係】

〔要望事項〕

取締役にも市コウノトリ共生部長が就き、業務監査を担当している。定款に基づく規定の順守を行い、利益相反の状態が生じることのないように留意されたい。

また、所管課である環境経済課は、四半期ごとの収支、決算の状況等を精査し、今後も会社と連絡調整を行い、経営成績及び財政状況等を十分把握し、適切な指導監督を行われたい。